

よかところ通信

2014年6月号

梅雨入りしながらも、雨の降らない日々が続いていますが、皆さんのところはいかがでしょう？田植えから1ヶ月。苗はずいぶん大きくなりました。まずは稲のご報告から。

植えた直後は本当に頼りなかった苗ですが、「分けつ」と言って1本が何本にも分かれ、1株ずつの背丈も日に日に伸びています。今では風に吹かれてもしっかりとその風を受けて、サヤサヤ音をたててなびいています。田植え直後は、風で倒されるんじゃないかと心配になっていたほどだったのに。水面に写る景色もだいぶ見えにくくなってきました。来月の通信では、もう膝丈以上に伸びているはずです。



さて、イネが順調に育っているという事は、雑草も順調に育っている訳でして…。我が家では、アイガモやコイを田んぼに放したりしているのですが、単純に「はい、どうぞ」と放すわけにはいきません。外敵がたくさんいるからです。彼らがやられると、後でとっても大変なことになる（人力で草取りするはめになる）ので、外敵対策はできる限り厳重に。コイの外敵はサギやカラスや猫。テグスを張り巡らせます。田んぼの端から端まで何往復、いえ何十往復もしたおかげで痩せました（笑）

アイガモの外敵は、カラスやイタチやキツネや野犬など。あまりに外敵が多いので、少し体が大きくなって集団行動を覚えるまでは、自宅脇で2週間ちょっと育てます。その間に、田んぼにしっかりとネットを張り、カラスよけにやはりテグスを張り巡らせます。



これらの準備に相当な時間がかかるので、草取りをするのと、ネットやテグスを張るのとどちらが省力になるのか分からないほどですが、それでもやっぱり人力による草取りは、面積が広いと非現実的。アイガモやコイたちは、私たちが寝ていようが食べていようが、せっせと田んぼの中を動いて草の成長を抑えてくれますから、たとえ準備が大変でも、彼らにお任せする方が効果的ということになります。ちなみに、広い田んぼにはアイガモ、狭い田んぼにはコイを入れます。広いとコイが浅い所には行かないので効果にムラが出るし、狭い所にアイガモを入れると、イネが踏まれたりしてやられてしまうからです。

去年は、アイガモがまだ小さいうちに壊滅的な被害を受けてしまいました。アイガモを孵化させる農家さんに事情を話して、もう一度お願いしたところ、去年はそちらでも鳥獣被害により雛がないとのこと。成鳥ならいるよ、ということで譲って頂いたのですが、シルバー鴨たちは睦で日向ぼっこばかり。あまりに仕事をしてくれないので、よし、鴨料理にしてやる！と思って捕まえようとしたら逃げ足は早い。とにかく散々な思いをしたものでした。今年は外敵にやられませんように！！



さて、農作業とは関係ないのですが、この1カ月で讚太郎が6歳に、私が40歳になりました。6歳になった讚太郎は、とうとう幼稚園に行くことに！保育園を2度も中退し、「ボクは農業するから保育園には行かなくていい」と豪語していた讚太郎ですが、6歳になることだし、と雨降り仕事がない日に幼稚園の見学に連れて行ったところ、なんといきなり女子に取り囲まれ、「さんちゃん、さんちゃん」と大モテの状態に。オトコというのは単純なものでして、翌日から「幼稚園、行こうかな。」と（笑）しめしめ、とニ

ヤつきながら、彼の気が変わらないうちに入園手続き。彼の超モテ期は1週間ほどで落ち着いたようですが、彼自身に好きな子ができたそうで、農作業をさしおいて毎日イソイソと登園しています。オトコを動かすのはオンナって事ですかね（笑）。勉強になりました。私はいよいよ不惑の大台に突入。惑いはまだまだたくさんありますが、それでも幸せを日々実感できる今の暮らしに迷いはありません。この幸せが続くよう、1日1日を大切にしていきたいと思います。



ところで、田植え前にフラリとやってきて、そのまま2か月半も我が家の農作業を手伝ってくれた助っ人・ローマンが、一時帰国のため阿蘇を出発しました。観光ビザで来日していたため、ビザの有効期限が切れる前に出国したわけですが、「日本に住みたい」という彼の希望を叶えるため、日本語学校の入学手続きを済ませました。受理されれば、就学ビザを取得して、数か月後に戻ってくる予定。こちらにも気になる女性もできたとのことで、きっとすぐにでも戻ってくることでしょう（笑）！ときめいている男子たちのエネルギーはとにかくすごい。おあしす米は、「コイ=恋」と

「アイガモ=愛」をかけて「恋愛農法」を名乗っているのですが、恋愛のパワーはやっぱりすごいなああと2人の若者を見ていて改めて思いました。

農作業も本当に盛りだくさんですが、私は相変わらず対外的な仕事も多く、皆さんから「旦那さんの理解があるから」とよく言われます。耕太曰く「理解というより我慢かな」とのことですが、私たち夫婦は学生時代から同じ目標を持っているので、それに近づくための役割分担ができていて感じています。そんな私たちの思いが、ドキュメンタリー番組になりました。目立つ役回りは私が多いとしても、その根底に二人の共通の思い



があることが浮き彫りにされた番組でした。県内での放送でしたが、今後、皆さんの所でも放送されるかも！？フジ系で、「Life～私達が残したいもの～」というタイトルです。

梅雨が明けたら夏本番。O2ファームはさらに賑やかになるでしょう。エアコン要らずの涼しい阿蘇にぜひお越しくださいね。それでは皆さんお元気で。